

ドライブレコーダー SDカードに正しく記録するために

● 映像は定期的に確認しましょう。

テストしたドライブレコーダーには、SDカードの異常を検出して表示や音で知らせる機能がありました。

SDカードに生じた不具合の種類によっては、異常を検出しない銘柄もありました。

SDカードや本体に異常がないか確かめるため、**正常に記録されていることを定期的に確認**しましょう。



● SDカードは定期的にフォーマットしましょう。

不良セクタの蓄積を想定したテストでは、**正常に記録できない銘柄**がありました。取扱説明書に沿って**定期的にフォーマット**して使用しましょう。

● SDカードは消耗品です。定期的に交換しましょう。

SDカードは繰り返しの記録により劣化していく**消耗品**です。容量やスピードクラスなど、ドライブレコーダーの仕様に合ったSDカードを選択し、**定期的に新品に交換**しましょう。

● 目的や使用方法に合わせて商品を選択しましょう。

ドライブレコーダーの中には、**定期的なフォーマットが不要なもの**や、起動時にSDカードを**チェックする機能があるもの**があります。また、SDカードには繰り返しの記録に対して**耐久性が高いと謳うもの**もあります。**目的や使用方法に応じて商品を選択**しましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2018年 11月発行
イラスト：川崎 敏郎

くらしの危険

Number
346

ドライブレコーダー SDカードの異常で映像が記録されないことも



自動車のフロントガラスなどに取り付け、運転のようすを記録※1するドライブレコーダー。事故やトラブル発生時に映像を確認したところ、録画されていなかったという相談が寄せられています。

データの記録に用いられるSDカード※2は、繰り返しの記録により劣化する消耗品です。SDカードの異常の検出や通知方法は、ドライブレコーダーによって異なるので、取扱説明書等を確認しましょう。また、正常に映像が記録されているか定期的に確認し、SDカードのメンテナンスも定期的に行いましょう。

※1：エンジン始動からエンジン停止までの映像を記録し続ける「常時録画」、センサーが一定以上の衝撃を検知した時に映像を記録する「イベント録画」などがあります。

※2：デジタルカメラやスマートフォンなど、写真や映像を記録する機器などに使用される記録媒体。形状によってSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードなどに分けられます。

ドライブレコーダー 記録に関する相談が 寄せられています

全国の消費生活センターには、ドライブレコーダーの記録に関する相談が、2013年4月以降、2018年6月末日までに88件寄せられています。



ケース 1

当て逃げ事故に遭い、警察からドライブレコーダーの映像提供を求められたが、5カ月前から作動しておらず事故当時の映像が録画されていなかった。

(受付年月: 2018年5月、40代・男性)

ケース 2

ドライブレコーダーは普通に作動していると思い、運転を続けていた。交通事故に遭い事故の様子を確認しようとしたが、ドライブレコーダーには何も映っていないことがわかった。

(受付年月: 2017年5月、40代・女性)

ケース 3

ドライブレコーダーを取り付けたが、記録媒体(SDカード)の不良で録画されていなかった。

(受付年月: 2016年4月、70代・男性)

商品テスト

●この調査の詳細は、独立行政法人国民生活センター公式ウェブサイトの発表情報「ドライブレコーダーの映像を定期的に確認しましょうーSDカードの異常により映像が記録されていないこともー」で見ることができます。

異常のあるSDカードを用いた場合の ドライブレコーダーの動作を調べました



◀ テスト対象銘柄

インターネット通信販売や実店舗で販売されている、価格帯の異なる12銘柄のドライブレコーダー。

いずれもmicroSDカードが記録媒体に用いられている。

SDカードの端子が損傷している場合

端子の損傷を想定して、一部の端子を絶縁させたmicroSDカードを用いてドライブレコーダーを起動させました。

■ 端子の絶縁箇所



(a) 電源端子 (b) データ通信用端子

- ✓ 全ての銘柄で異常を検出
- ✓ 表示のみの通知の銘柄も

【音と表示】5 銘柄

【表示のみ】7 銘柄

カードの異常の通知例 ▶

異常を検知し、画面に「カードエラー」の表示が出ている。この銘柄は音による通知はなかった。



記録可能な領域が極端に少ない場合

SDカードは長期間メンテナンスを行わないと不良セクタ^{※3}が次第に大きくなり、記録できる領域が少なくなることが考えられます。記録可能な領域を極端に少なくしたSDカードを用いて動作を確認しました。

※3: 経年劣化や繰り返しの記録等によってできる、正常な読み書きができない領域。

- ✓ 3銘柄は録画を継続したが正常に記録されないことも
- ✓ 異常検出・録画開始せず...1銘柄
- ✓ 異常検出・録画停止...5銘柄
- ✓ フォーマット^{※4}機能で正常動作...3銘柄

※4: メモリカードなどの記録媒体に対し、記録領域を作ること。初期化。

読み書きできないSDカードの場合

消費生活センターに相談があったドライブレコーダーに使用されていた読み書きできないSDカードを用いて動作を確認しました。

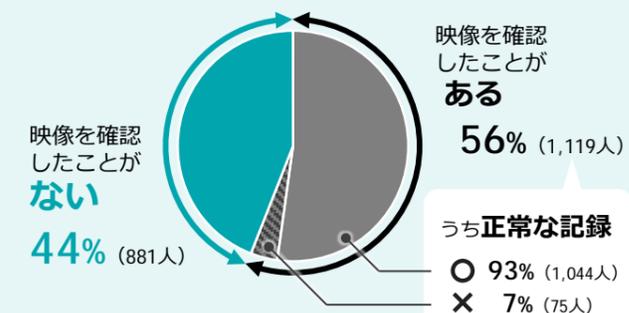
- ✓ 3銘柄で録画中と表示されたが記録残らず
- ✓ 9銘柄で起動時に異常検出



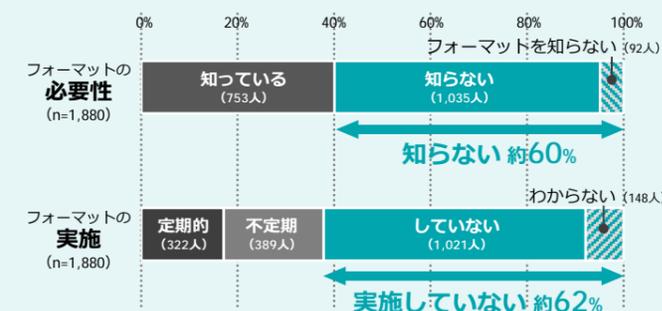
消費者へのアンケート

●実施方法: インターネット ●調査対象: ドライブレコーダーを使用している全国の18歳以上の男女 ●調査期間: 平成30年6月 ●対象人数: 2,000人

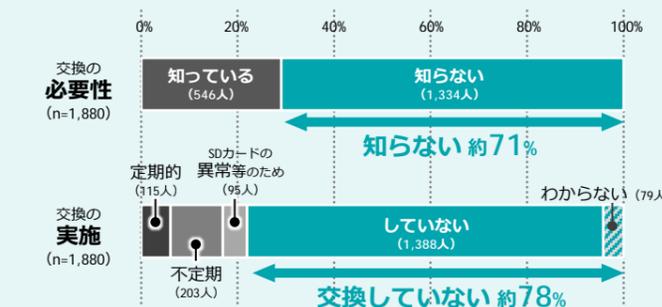
■ 半数近くが映像確認せず (n=2,000)



■ SDカードの「フォーマット」



■ SDカードの「交換」



◀ 画面の様子 (例)
録画中の表示が見られるが、記録は残っていない。

録画時間